

やまたらけ

YAMADARAKE

AUGUST
No. 12
2005

魚と子ども の知恵比べ

「早川町の中心を流れる早川は、日本三大急流の一つ富士川の中でも、最も急流で水量も多い支流であった。日本で二番目に高い南アルプスの主峰、三一九一メートルの北岳に源流を發し、途中の沢々の水を集めて水量を増し、清澄の水は南岸の緑を映し、ときには激流岩を噛み、ときには深淵に魚群を遊ばせながらも、林産物の流送、船便の利用、田畑の灌漑にと、沿岸住民に自然の恵みを、また喜びをあたえてきた。」(望月清治著「水」)

早川町において、川は常に暮らしと隣り合わせにあった。住民に話を聞けば、子供の頃の川での思い出が、口をついて次から次へ出てくる。無骨な風貌の山人も、川遊びのことを訪ねると、子どもの瞳をして顔をほころばせ語り出す。特に魚捕りは少年の心をくすぐる遊びだった。でも、魚捕りってどんなもの？釣りに？モリ突き？いやいや、少年たちはもっと工夫していた。年上から年下へ受け継がれる魚捕りの知恵と技。時には「遊び」を通り越した真剣さを感じられる。当時は、食べ物を確保するという意味もあったのだから。

かつての少年達の、魚たちとの知恵比べ。とくとご覧あれ。



川ん水、濁ってるぞ
ぶって踏みいかだあ

ぶって

台風や大雨で川が荒れると、カジカは小石を飲み込んで、川の端に寄ってくる。そこにはしゃばしゃと足で踏み込んでいき、ぶってかごの中にカジカを追い込む。足でなく、板でゴリゴリ押す、「ゴリ押し」というやり方もある。



ぶってかご
割った竹をすだ
れ状に編み、竹の
棒を付ける。



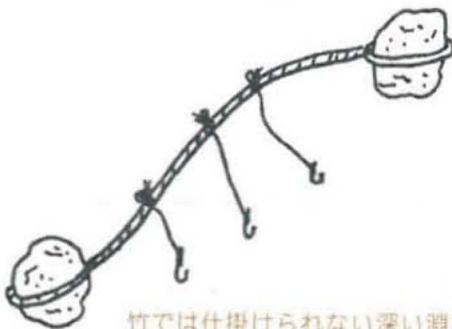
ひぶり

カーバイトの臭いが、
くさくてくさくて

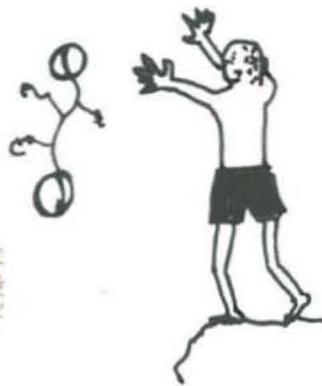
夜、川の瀬で眠っている魚を狙う。川の水が少なすぎてきれいに澄んでいるときがチャンス。川に灯りをかざすと、ちやら瀬（小石の多い川の瀬）に魚がゆらゆら眠っているのが見える。そこをモリで、「突き！」まさに「仕留める」醍醐味のある漁法。
灯りには、松明やカンテラ（カーバイトランプ）を使った。カーバイトの独特な臭いが忘れられない。

さかなとりの知恵図鑑

文章・イラスト 土田 真

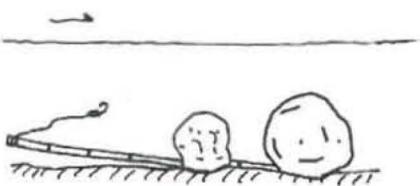


竹では仕掛けられない深い淵などには、縄の仕掛けを用意し投げ入れる。回収するときは、カギ状にした竹で引っ張り上げる。



そんなしゃつつらな
うなぎじゃなきゃ、だめどお

さげばり



竹の仕掛けは、上流に向けて、または横向きに掛ける。下流向けると、魚が暴れたときに石から抜けやすいから。仕掛けた場所には、誰の仕掛けかわかるよう、各々が独自のケルンを立てる。

主に遡上するウナギを捕る方法。仕掛けは、竹を使うものと、縄を使うものがあり、竹は、野竹を六尺くらいに切り、一尺ほどの糸を一本付け、その先に針を付ける。縄の場合は、こちらも六尺くらいに切った縄に、一尺ほどの糸を三・四本つけ、その先に針を付ける。
竹の仕掛けは、上流か横に向けて置き、流されないように石を二つのせる。下流に向けると川の流れに乗って、竹ごと流されてしまう事もある。縄は、両端に石をくくりつけ、淵に放り込む。
餌はともに、トバミミズ。適当な長さに切ったミミズを針に付け、陽に当てて乾かす。そうするとミミズが針にへばりついて、餌保ちがよくなる。
夕方仕掛け、翌朝、なるべく早めに見に行く。大きなヤマメやカジカが掛かることもあるが、ウナギを持って帰らないと家族には褒められない。

小さいのは逃げるように
目を粗くするだけ

さかさっかご

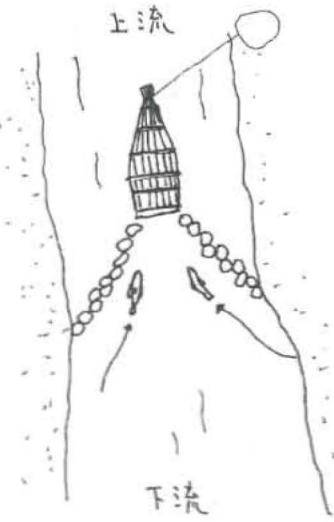
下流

夜に、川を遡上するウナギ、ヤマメ、ウグイ、カジカなどを捕まえる。野竹で、長さ六尺ほどの大きなかごを作り、川下に向けて取り付ける。

「かごを下に向けて作るから、さかさっかごと言うんだ。かご作るのに何日もかかるので、前々から準備しておかんきやならんだ」。

たくさん捕るために、かごに向かつて石を並べ、魚を導く道を作る。良い条件がそろった場所を探すのも一苦労。

かごは、何シーズンも使う。準備は大変だが、採れた時の醍醐味も、また格別。



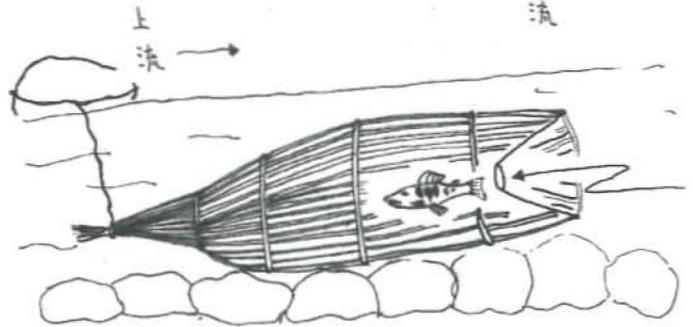
かごに向けて石を並べ、魚を誘い込む。状況の良い場所を見つける目も必要。また、かごは流れないように、川岸の大きな石に、縄でくくり付ける。

息をしている石。一カ所だけ、きれいな筋が入っている。



山吹の花の咲く頃が、カジカの卵をとる季節。
川の石をよよく見ると、一カ所だけ、川底にきれいな筋の入った石がある。その筋は、カジカが通っている証。この筋がある石を「息をしている石」といい、めくると卵が付いている。
指先で卵を削るようにとり、その場でペロリ。残りは家を持って帰り、塩を付けて食べたり、真綿で包んでヤマメ釣りの餌にしたりする。

息をしている石を探せ カジカの卵とり

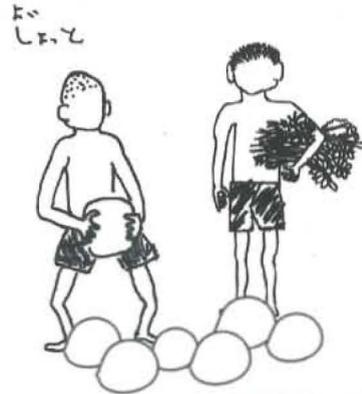


魚が遡上する性質を利用して、川下に向けてかごをかける。いったんかごの中に入ってしまうと、もう出られない仕掛けになっている。

ほれ、あそこにいるぞ！
おまえ、捕ってこい！

かわぼし

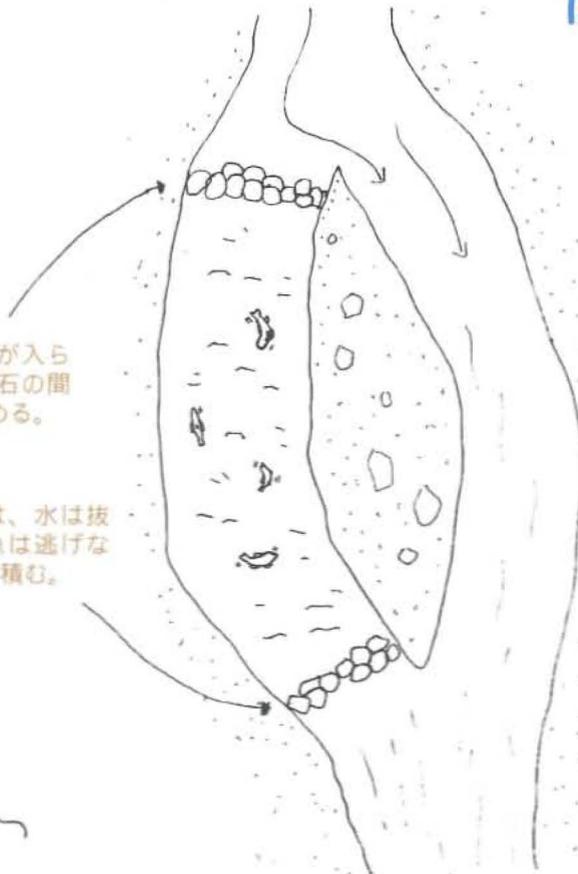
川の流れをせき止め、一時的に干上がらせ、そこに魚をこっそり捕る。魚にとっては、たまったもんじゃな漁法。
二股に分かれている川を見つけ、片側に石を積んで水の流れを止める。水が引いてくると、水たまりでびしびしと魚の姿が見えてくる。それをひよいつかまえて、腰のびくに入れる。
一人でもできるが、やはり何人かで協力してやる事が多い。もちろん終わったら後は、石をどけ、川の流れを元に戻すことも忘れない。



上流側は、水が入らないように、石の間に草や砂を詰める。

下流側は、水は抜けるが魚は逃げないように積む。

水がなくなると、魚が干上がった川ではねるのが見える。



9/10-11

やまだらけツアー-第9弾
幻のヤマトイワナを追え!

女性やお子さんのために、草木染め体験も用意しました。

ご家族でご参加下さい!

ヤマトイワナとは、南アルプスを源流とする川に生息するイワナで、釣り愛好家も注目する幻の魚です。そんなヤマトイワナが、なんと早川町には棲んでいるのです。

今回は、ヤマトイワナの生息地にみなさんをご案内し、渓流釣りを体験していただきます。初心者も大歓迎。渓流釣り、そして貴重なイワナに出会えるこのチャンスをお見逃しなく!

なお、釣りに行けない方も楽しめるよう、草木染め体験も用意しました。ぜひ、ご家族でお越し下さい!



~申込先~
やまだらけ編集部
☎0556-45-2160

ギャラリー・オゴン

日時/9月10日(土)13時30分~翌11日(日)17時頃
集合場所/ヤマメピア(昼食をすませてお越し下さい)
内容/10日:ヤマメピアにて釣り体験

座学「渓流釣りの基礎とヤマトイワナ」
宿泊はヴィラ雨畑(温泉付き)

11日:渓流に出てヤマトイワナ釣り
※希望者は草木染め体験に変更可能!

参加費/一泊三食および体験料込みで、
会員12,000円(中学生以下7,500円)、
非会員13,000円(中学生以下8,000円)
※幼児無料(布団・食事なし)

定員/渓流釣り希望者が10名になった時点で締め切り
二日目の詳細および注意事項/

渓流釣り:本格的な渓流釣りへ案内します。服や靴が濡れます。帽子、長袖、長ズボン、濡れても良い運動靴をご持参下さい(上下はジャージがよい)。釣り道具と餌は持参。お持ちでない方は、別途1000円にて貸し出いたします。草木染め:周辺に生えている植物から染料を作り、Tシャツを思い思いの色やデザインに染めましょう。参加費の中で、お一人一枚Tシャツを用意します。もっと染めたい方は、大人用700円、子供用500円で、別途販売いたします。※渓流釣りに参加されるか、草木染めに参加されるかは、申し込み時にお知らせ下さい。

8/27

川遊びの達人・長谷川さんと一緒に
川遊びを体験しよう!

今号で取材にご協力いただいた長谷川さんが、川遊びを指南してくれます。今回は、子ども向けのツアーですので、みなさんのお子さんやお孫さんを連れてきてください。地元の子も達も参加しますので、子ども同士の交流も楽しめます。

夏休み最後の思い出づくりに、ぜひご参加下さい!



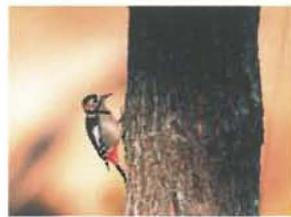
お子さんやお孫さんと一緒にご参加ください!



~申込先~
やまだらけ編集部
☎0556-45-2160

9/25

野鳥公園主催自然観察シリーズ②
鳴く虫と秋の実りと渡り鳥



9月といえば、まだ夏のようですが、自然は秋の準備を着々と進めています。

そんな初秋の自然の様子を観察するのが、今回の企画。野鳥公園のスタッフが、自然観察路を散策しながら、丁寧に解説してくれます。

午前中だけの観察会ですので、温泉やお食事と合わせて計画されるとさらに楽しめるかも。参加者にはもちろん、お食事割引券をサービスします!

~申込先~
南アルプス野鳥公園
☎0556-48-2288

こんな鳥や虫に出会えるかもしれません!

鳥:ヤマガラ、カワラヒワ、キツツキの仲間、オオルリなど
虫:カンタン、キリギリス、エンマコオロギなど

日時/9月25日(日)午前9時~12時
集合場所/野鳥公園駐車場(おばあちゃんたちの店前)
参加費/大人800円、小人500円
定員/20名(要申込、先着順、締切9月18日)
備考/土の上を歩ける靴でお越し下さい。参加者には、町内の食事処割引券をお渡しいたします(当日限り有効)。

日時/8月27日(土)午前10時~午後4時頃(小雨決行)
集合場所/野鳥公園駐車場(おばあちゃんたちの店前)
参加費/1,000円(引率者は無料)
参加資格/小中学生
定員/20名(要申込、先着順、締切8月15日)
持ち物/弁当、水筒、水着か濡れてもよい服、帽子、タオル、ビーチサンダル
備考/天候等で中止の場合は、地元の子も達と一緒に、軽スポーツ等を楽しみます。また、お子さんだけ参加される場合は、最寄り駅から送迎いたします(9時35分までにJR身延線下部温泉駅集合)。

町のホットニュース!

七夕の日に赤沢のそば処が復活! そば処「武蔵屋」正式オープン

前号でお知らせした赤沢のそば処が、7月7日に正式オープンしました。その名も「そば処武蔵屋」。

歴史を感じさせる店舗は、集落を見下ろす高台にあり、ロケーション抜群。こだわりの手打ちそばに、旬の野菜の天ぷらと小皿がついた天ざるは、800円と割安。

しばらくは土、日、祝日のみの営業となりますが、赤沢にお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい!



営業日時/
土曜、日曜、祝日の11時～15時
平日は予約が必要
メニュー/
ざるそば 600円、天ざる 800円



食べに
きてね～!

～お問い合わせ～
赤沢のそば処「武蔵屋」
営業日：☎0556-45-3117
平日：☎0556-45-2747(望月)

会員割引
あります!

源泉100%掛け流しの露天風呂 西山温泉・湯島の湯

8月9日、堂々オープン!

昨年末から建設を進めていた、新しい町営温泉「西山温泉・湯島の湯」が、8月9日にいよいよオープンする運びとなりました。源泉100%掛け流しの露天風呂に、コテージもあり、休憩や宿泊も可能です!

◆温泉◆

営業時間/午前10時～午後6時(7, 8月は7時まで)
定休日/毎週木曜日(祝日の場合は翌日)
料金/大人500円、小人(小学生)200円

会員は大人200円、小人150円で利用できます。
※受付にて会員証をご提示下さい!

◆休憩◆

営業時間/午前10時～午後3時 料金/1名1,500円

◆宿泊◆

営業時間/チェックイン午後3時
チェックアウト翌午前10時
(入浴は夜9時まで、朝6時から)
料金/コテージ棟一泊(温泉利用料、入湯税込み)
2名 8,300円、3名 10,450円、4名 12,600円



～お問い合わせ～
西山温泉・湯島の湯
☎0556-48-2468

早川旬の直送便

自分で育てる菌床なめこ

ご家庭で、楽しく簡単に栽培できる菌床なめこです。乾燥に気をつけて、毎日水をあげれば、1～2週間で収穫できます。詳しい栽培方法を書いた説明書を同封します。

料金/2,100円(送料、税込み)

内容/菌床が詰まったビン6本

※上手に育てれば、約1kgは収穫できます。

締め切り/8月31日(月)

発送/9月下旬～10月上旬



左は送付時。
1週間程で上の
状態になります。

今年もこの季節がやってきた!

アルプス林研と森林組合の 原木露地栽培のまいたけ

毎年ご好評いただいている、このまいたけ。味、香り、歯ごたえと、三拍子そろった絶品です。ほかではちょっと味わえない、早川町自慢の味を、ぜひご賞味下さい!

料金/3,000円(送料、税込み)

内容/まいたけ1kg

締め切り/8月31日(月)

発送/9月下旬～10月上旬



ご注文は、同封した申込用紙に必要事項をご記入の上、早川町森林組合にファクシミリでお送り下さい。

～お問い合わせ～ 早川町森林組合 ☎0556-20-5100 FAX0556-20-5101

今回の取材でお話になった、
長谷川空五さんにお話を伺いました。

○川遊びは誰から 教えてもらったのですか？

先輩からだな。台風の日に先輩に川に連れていかれて「向こう岸まで泳げ」って川にぶち込まれた(笑)。無茶苦茶なようだけど、ちゃんと先輩が川下で見張ってくれてたから、事故もなかった。それから、川でよく遊ぶようになった。特に、夏休みは毎日行ってたね。

○道具はどうやって揃えたんですか？

買うお金なんないから、ほとんど自分で作ったさ。竿は、細くて長いマダケを9月ごろ切ってきて加工する。炭火であぶって、油を抜きながら形をととのえて。仕上げに、針金を巻いて重りをつけて、橋から吊るすんだ。まっすぐになるように。

○思い出深い エピソードを教えてください。

夏場は田んぼの草取りがあるんだけど、早く川に行きたいじゃん。だから、ちょっ

とだけ草とって、あとはじゃばじゃばと水を濁らせて「終わった、川に行く」って(笑)。子どもの浅知恵だから、すぐばれて後で怒られるんだけど。

あと、川の水が冷たいから、20分も潜ってれば、もう唇が真っ青になる。そうなれば河原の石に抱きついて、暖まるんだ。本当にあったけえんだ。(至福の表情)

○こういった魚捕りは いつ頃までやられていたんですか？

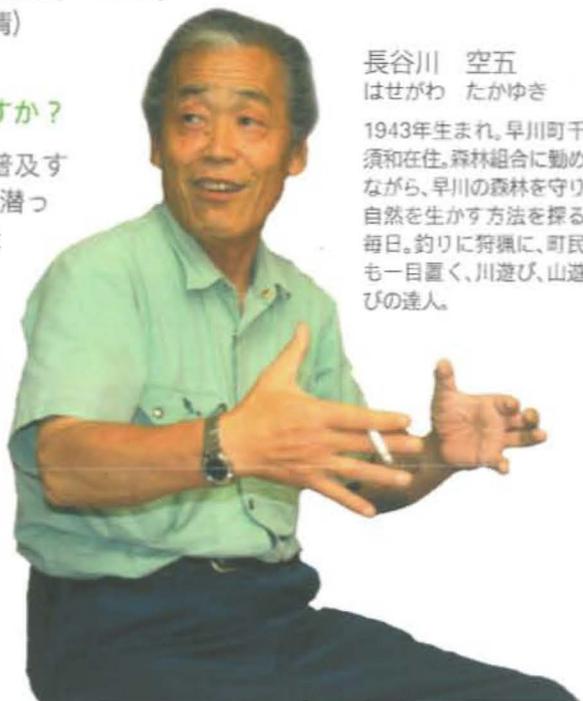
昭和30年代半ばかな。テレビが普及する前かもしれない。俺らの子どもも潜って素手で捕まえたり、モリで突いたりぐらいはしたと思うけど。

○今だと、いろんな規制があり、 川遊びもままならないようですが

利益を目的にやるのは良くないと思うが、文化を伝えるためにやるのは許可してもらいたい。今の子どもたちにとっては、必ずしも必要なことではないかもしれんけんが、伝えないと誰も知らないってことになる。自分も、川や山で遊んで生きる知恵を学んだよ。い

ざというとき、こうした知恵が役に立つと思うんだ。

若い頃は忙しくてそれどころじゃなかったけんが、孫できて、オジイって呼ばれるようになって、こういう文化を伝えていくのは、俺の世代の役割だと思うようになったね。



長谷川 空五
はせがわ たかゆき

1943年生まれ。早川町千須和在住。森林組合に勤めながら、早川の森林を守り、自然を生かす方法を探る毎日。釣りに狩猟に、町民も一目置く、川遊び、山遊びの達人。

■NEXT やまだらけ

13号特集 (10月上旬お届け) 「魅惑の果物 ポポ」

「ポポ」って果物ご存じですか？むかしむかし、バナナと一緒に日本に入ってきたようですが、一般にはあまり普及しませんでした。なぜって？それは個性が強すぎるから。

そんなポポの木が、なぜか早川町のあちこちに生えています。そして秋になり、その強烈なおいが町中に広がりますと、好き、嫌いの話題で町中は持ちきりです。

そんな、早川町民の心を掴んで離さない、ポポの魅力を一挙ご紹介いたします！

■読者の声

●食事処の紹介を読ませていただき、一度行ってみたいと思いました。しかし、季節によって食べられない山菜が多いように思います。それらも付記していただけるとありがたいです。(厚木市、Mさん)

編集部:奈良屋さんによると、山菜は塩漬にすれば、年間通して食べられるそうです。また天ぷらは、夏には旬の野菜、秋はキノコなど、その季節のものを出すよう心がけ、どの季節に来ていただいても満足していただける工夫をしています、とのこと。

●奈良屋さん、ヴィラ雨畑とも、人物写真がもう少し顔がはっきりしているものだったら良かったなあ。どんな方がつくっているんだろう…と、とても興味があるので。(甲府市、Iさん)
編集部:配慮が足りませんでした。みなさん、いい顔なさってましたよ〜。どんな顔かって？それは食べに来たのお楽しみということで。

お詫び:先日、物産会員の皆様にご迷惑をいただいた一画目の旬の定期便。その中のベーコンに、黒いシミが付いているというご指摘をいただきましたが、これは漬物時期に付いたシミで問題はありません。ご心配おかけしました！

「孫に遊び方を教えている」という長谷川さんの話を聞いて、小さい頃に祖父に連れて行ってもらった川を思い出しました。あんなに冷たい水の中で、よく遊んでいたなあ。足の裏の、ごつごつした石の感触。急に深くなる淵の水の色。川から上がって寝そべったゴザと背中が擦れる音。体を拭いたタオルの暖かさ。クーラー冷気のする庭先で、そんな感覚がよみがえってきます。

7/2 ヘイケボタル観察会

野鳥公園主催の自然観察会第1弾として企画された、ヘイケボタルの観察会。サポーターズクラブのほかにも、観光客や近所の町民など、総勢40名が集まりました。

暗くなるのを待って、さあ出発です。提灯を片手に、ホタルがいる場所を目指します。しばらく行くと、暗闇にポツポツと光が。目が慣れてくると、さらに多くの光が見えてきて、参加者は大歓声！幻想的なひとときを過ごすことができました。



提灯行列も、まるでホタルのように幻想的でした。

毎回盛り上がっています！
大勢の方のご参加を、
お待ちしております！



7/10 道草遊びと 朴葉めしづくり

やまだらけツアー第8弾として開催した「道草遊びと朴葉めしづくり」。今回は、サポーターズクラブの方々からの参加が定員に満たなかったため、急ぎょ地元にも案内をし、大勢の町民も参加することになりました。

午前中は、遊び部会の方々が、集落周辺を散策しながら、辺りに生えている植物を使って、さまざまな遊びを教えてくださいました。笛をピーピー鳴らしたり、コップを作って水を飲んだり、水車や鉄砲なども作って、子どもたちは大喜び。大人も、懐かしがったり、驚いたり。

お昼からは、朴葉をつかった郷土食「朴葉めし」づくり。お米を朴葉でつつみ、塩水で茹でるだけの簡単な料理ですが、あつあつを頬ばると、朴葉の香りが口いっぱいに広がります。地元の人でも、初体験という方が多く、とても盛り上がりました！